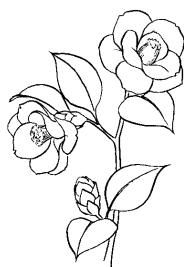


決算審査特別委員会での審査状況

平成20年度決算を認定

市の財政状況

景気と同様に光は見えず



質疑 保育料未納世帯の収入状況を把握しているか。
答弁 平成二十一年度未納世帯五十三件に対し、所得税非課税世帯が二十三件あり、厳しい経済状況を反映していると考える。

平成20年度一般会計、各特別会計及び公営企業会計決算を審査する特別委員会（議員全員で構成）は、9月17日、18日の2日間開かれ各決算を審査し、市当局と議員との活発な質疑・応答の結果、いずれも認定すべきものと決まりました。

委員会で議論された主な内容は次のとおり。

一般会計から

質疑 デマンド交通導入の進捗状況は。

答弁 デマンド交通、いわゆる乗り合いタクシーの導入については、赤字運行の継続している市内三路線及び冬期の十和田湖線を検討している。住民説明会を実施し、一年間の試験運行を予定している。現在はその事前準備を進めている状況である。

質疑 十和田市雇用創造推進協議会の活動状況は。

答弁 平成十九年九月から厚生労働省の委託事業として、市全体の雇用状況を好転させることを目的に実施している。平成二十一年度事務実績として、観光リーダー育成研修やITレベルアップ研修など二十九事業を実施、研修受講者のうち百三十二人が雇用に結びついている。

質疑 秋まつり山車製作補助事業の経緯と今後の継続交付について。

答弁 県の補助金も利用した自家の山車製作技術の向上、地域コミュニティの形成、秋祭り全体の活性化を目的としている。町内会や観光協会からの要望を受け、平成二十一年度も補助を行った。四年間の実施成果として、山車製作技術の向上、地域のまとまりを感じる等の意見も聞いている。来年度の補助についても、観光予算全体の枠の中で補助が継続できるよう努め、鋭意工夫、努力していきた



雇用創造推進協議会の研修風景

質疑 焼山福祉センター廃止による影響は。

答弁 代替として市民の家の利用を推進している。市民の家利用状況は前年比約二倍となり、大変盛況となっている。混雑や備品不足の指摘も受けているが、アンケートをとるなどして、改善する方向で検討している。

質疑 指久保ダムの進捗率及び完成後の維持管理について。

答弁 ダムの堤体はほぼ完成しており、今後は警報装置や放流設備等の整備を行うと聞いています。完成後の管理は県になると思うが、まだ具体的に示されていない。

国民健康保険事業特別会計から

質疑 秋まつり山車製作補助事業の経緯と今後の継続交付について。

答弁 平成二十年四月から四十歳以上六十五歳未満の方を対象に実施している。心電図・血液中の血糖検査等、医師の判断に基づき行うようになったことが大きな変更点である。生活習慣病、いわゆる糖尿病や心臓病、高血圧症になる可能性のある方々を早目に発見することを目的にしている健診査だと認識している。

質疑 市立中央病院の入院者特別室の利用状況及び利用料金の見直しについて。

答弁 入院者特別室は五床あるが、常時利用されるのは二床程度である。将来的に人間ドック利用者の利用も考えている。利用料金については試行的に下げているが、いずれ本来の料金に戻したいと考えている。

病院事業会計から

質疑 休屋地区再整備基本計画の概要について。

答弁 観光拠点施設を休屋につくりたいということ

質疑 市立中央病院の入院者特別室の利用状況及び利用料金の見直しについて。

答弁 入院者特別室は五床あるが、常時利用されるのは二床程度である。将来的に人間ドック利用者の利用も考えている。利用料金については試行的に下げているが、いずれ本来の料金に戻したいと考えている。

ごみ収集運搬業者に対する苦情を耳にするが、どのように指導を行っているか。

質疑 ゴミステーションから収集運搬業者が搬出する際の後片付け等については、随時十和田地域広域事務組合に申し入れているが、改善されるよう、引き続き申し入れを行っていく。